

徳島県の地震

令和元(2019)年5月

目次

◎徳島県の地震活動

震央分布図・断面図	…	1
概況	…	1
徳島県で震度1以上の揺れを観測した地震の表	…	2
震度分布図	…	2

◎地震メモ

「南海トラフ地震臨時情報」等の提供開始について	…	3
-------------------------	---	---

*「徳島県の地震」は月1回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

*本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

*本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

*この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

*全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaq.html>

*大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。
<http://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

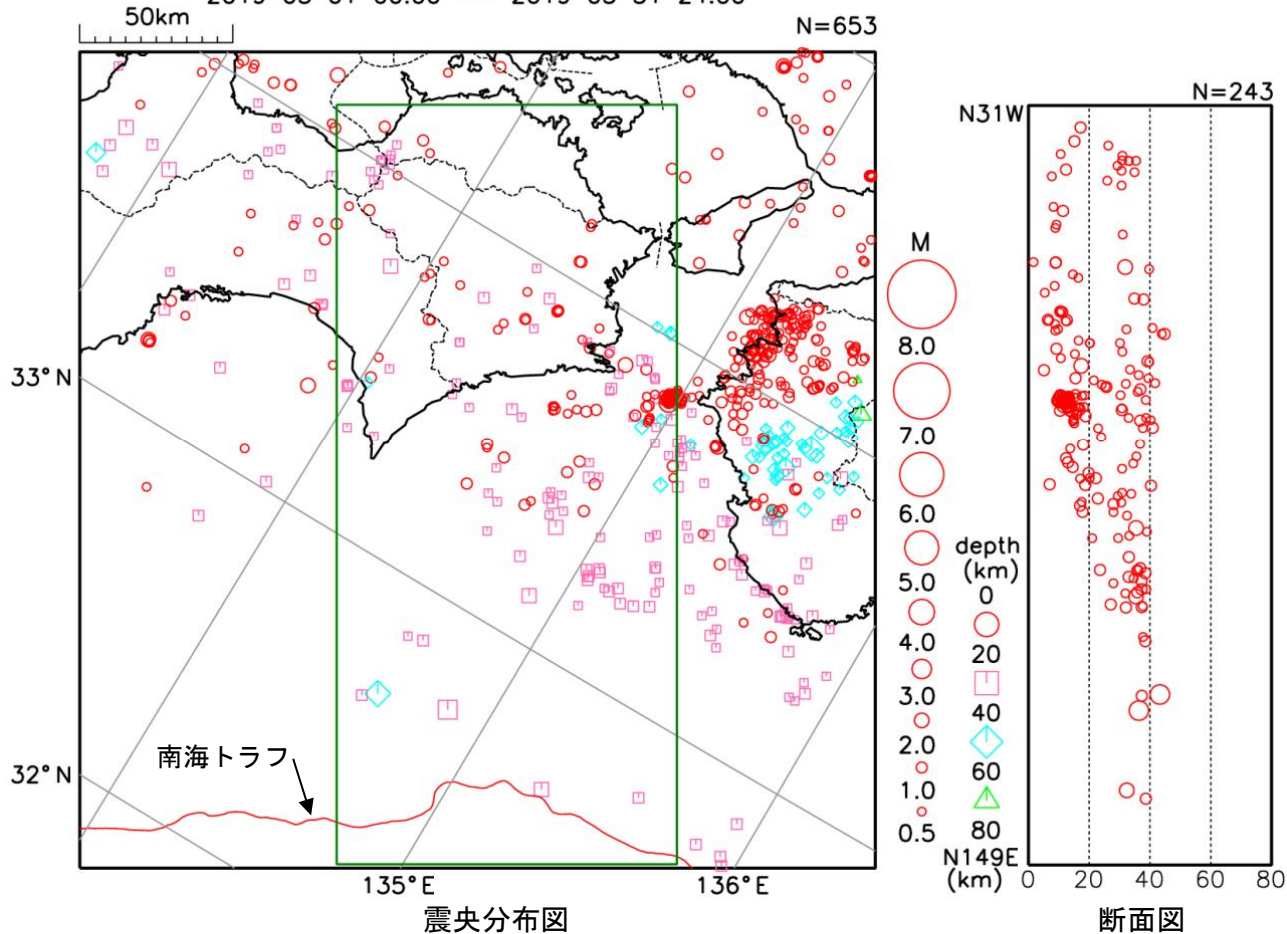
徳島地方気象台

(<https://www.jma-net.go.jp/tokushima/>)

徳島県の地震活動

震央分布図・断面図 2019年5月1日～2019年5月31日

2019 05 01 00:00 -- 2019 05 31 24:00



- ・ M0.5以上の地震を表示。
- ・ 震央分布図中の緑色の長方形内の地震を北東側から見た断面図を右に表示。
- ・ 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさとマグニチュード (M) の大きさを、シンボルの形状と色で震源の深さ (震央分布図のみ) を区分。

概況

2019年5月に徳島県で震度1以上を観測した地震は1回でした。(前月は0回)。震央分布図の範囲内でM2.0以上の地震は27回(前月は26回)、断面図の範囲内でM2.0以上の地震は8回(前月は5回)でした。

11日08時59分、日向灘の地震(震央分布図範囲外:M5.0、深さ36km)により、三好市で震度1を観測しました。また、愛媛県、高知県、宮崎県で震度4を観測したほか、中国、四国、九州地方で震度3~1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

徳島県で震度1以上の揺れを観測した地震の表

2019年5月1日～2019年5月31日

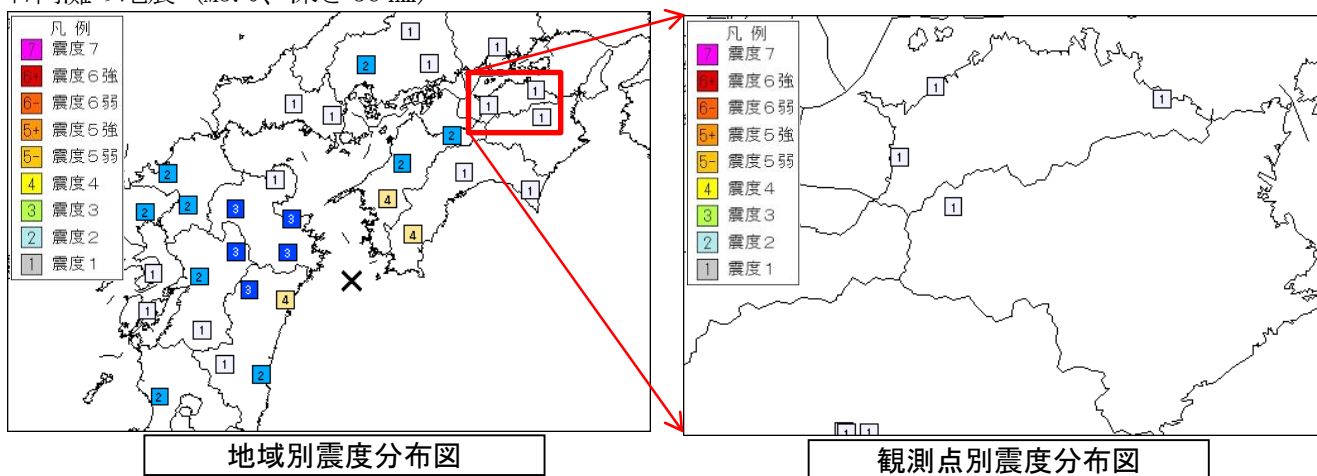
発震日（年月日時分） 各地の震度（徳島県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2019年05月11日08時59分 震度 1：徳島三好市池田総合体育館	日向灘	33° 41.4' N	132° 17.6' E	36km	M5.0

- ・ 震源要素（緯度・経度・深さ・マグニチュード）は暫定値。
- ・ 地点名の後に*がついている地点は、気象庁以外の観測点。

震度分布図（×印は震央）

5月11日08時59分

日向灘の地震（M5.0、深さ36km）

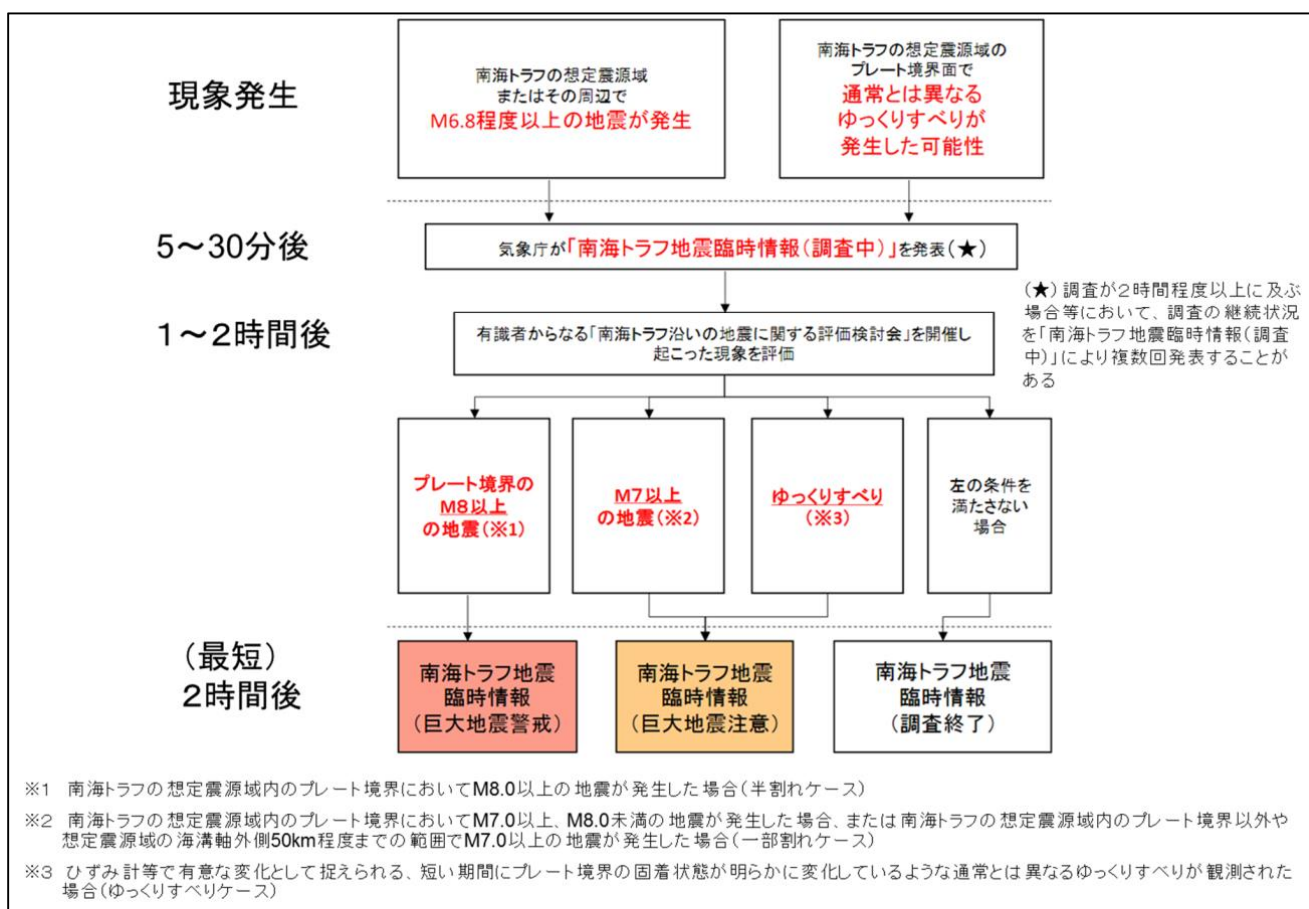


【地震メモ】「南海トラフ地震臨時情報」等の提供開始について

5月31日に開催された中央防災会議^{※1}において、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」が変更され、南海トラフ沿いでマグニチュード8クラスの地震が発生した場合等、南海トラフ地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合の国や地方公共団体、企業等の防災対応が定められました。

国や地方公共団体、企業等が、この基本計画に基づく防災対応をとりやすくするため、気象庁では、従前の「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」及び「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」に替わり、「南海トラフ地震臨時情報」及び「南海トラフ地震関連解説情報」の情報発表を5月31日より開始しました。「南海トラフ地震臨時情報」の情報発表までの流れは、下図のとおりです。この情報発表後、政府からの呼びかけに応じて地方公共団体、企業、住民等が防災対応を実施することになります。

また、「南海トラフ地震臨時情報」については、「調査中」、「巨大地震警戒」、「巨大地震注意」、「調査終了」の防災対応等を示すキーワードを情報名の後に付記します。



「南海トラフ地震臨時情報」の情報発表までの流れ

なお、「南海トラフ地震臨時情報」等の提供開始の詳細は、気象庁ホームページに掲載されている報道発表資料（令和元年5月31日）をご覧ください。URLは、以下のとおりです。

http://www.jma.go.jp/jma/press/1905/31a/20190531_nteq_name.pdf

【参考】

※1 中央防災会議

<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/chuobou/>